

---

# 厚木看護専門学校

## 2024 年度 自己点検・自己評価 報告書

---

2025 年 3 月

社会福祉法人神奈川県総合リハビリテーション事業団  
厚木看護専門学校

## 1. 2024 年度自己点検・自己評価について

### 1) 2023 年度評価に対する 2024 年度の取り組み総括

- (1) 昨年度に引き続き、職業実践専門課程の充実に向けた自己点検自己評価を文部科学省・厚生労働省より出された指針より評価のエビデンスとなるデータやマニュアル等の根拠資料を提示し実施した。その結果は以下の通りである。

### 2) 2024 年度自己点検・自己評価の実施・結果

(1) 実施日 : 2025 年 1 月 9 日～1 月 18 日

(2) 対象者 : 教職員 27 名 回収率 100%

(3) 結果

評価基準 : 適切… 4 ほぼ適切… 3 やや不適切… 2 不切適… 1 の 4 段階とした。

大項目	評価項目	2023	2024
1.教育理念・目標	① 学校の理念目的育成人材像	4.0	4.0
	② 学校における職業教育の特色	4.0	4.0
	③ 学校の将来構想	4.0	4.0
	④ 学生保護者等に周知	4.0	4.0
	⑤ 業界のニーズに向けられているか	4.0	4.0
2.学校運営	① 運営方針の策定	4.0	4.0
	② 事業計画	4.0	4.0
	③ 運営組織や意思決定機能	4.0	4.0
	④ 規程の整備	4.0	4.0
	⑤ 意思決定システムの整備	4.0	4.0
	⑥ コンプライアンス体制の整備	4.0	4.0
	⑦ 情報公開	4.0	4.0
	⑧ 業務の効率化	4.0	3.85
	⑨ 安全対策の整備	4.0	4.0
	⑩ 学校安全保健、消防計画の作成	4.0	4.0
3-1.教育活動	① 教育課程編成実施方針	4.0	4.0
	② 教育到達レベル確保	4.0	4.0
	③ 体系的な編成	4.0	4.0
	④ 工夫・開発	4.0	4.0
	⑤ カリキュラム作成見直	4.0	4.0
	⑥ 体系的位置づけ	4.0	4.0
	⑦ 授業評価実施評価	4.0	4.0
	⑧ 外部関係者評価	4.0	4.0
	⑨ 成績評価・単位認定	4.0	4.0
	⑩ 指導体制、カリキュラム体系	4.0	4.0
	⑪ 人材育成に向けた授業	4.0	4.0
	⑫ 優れた教員の確保	4.0	4.0
	⑬ 資質向上の取組	4.0	4.0
	⑭ 能力開発のための研修	4.0	4.0

大項目		評価項目	2023	2024
3-2.実習	①	実習施設の教育理念・目標の理解	4.0	4.0
	②	学生支援の体制整備	4.0	4.0
	③	臨地実習指導者の役割	4.0	4.0
	④	教員の役割	4.0	4.0
	⑤	実習指導者と教員の協働体制	3.9	4.0
	⑥	対象者の権利を尊重するための思考	4.0	4.0
	⑦	学生への計画的な指導	4.0	4.0
	⑧	学生が関係する事故の把握、分析	4.0	3.95
	⑨	安全教育、対策の実施	4.0	4.0
4.学修成果	①	就職率の向上	4.0	4.0
	②	資格取得率の向上	4.0	4.0
	③	退学率の低減	4.0	4.0
	④	卒業生在校生の社会的な活躍及び評価	4.0	4.0
	⑤	教育活動の改善	4.0	4.0
5-1.学生支援	①	進路・就職の支援体制	4.0	4.0
	②	学生相談	4.0	4.0
	③	経済的な支援体制	4.0	4.0
	④	健康管理を担う組織体制	4.0	4.0
	⑤	課外活動の支援体制	4.0	4.0
	⑥	学生の生活環境への支援	3.8	4.0
	⑦	保護者と適切な連携	4.0	4.0
	⑧	卒業生への支援体制	4.0	4.0
	⑨	教育環境の整備	4.0	4.0
	⑩	高校等との連携	4.0	4.0
5-2.学生生活の支援	①	入学後に学修を継続できる支援	4.0	4.0
	②	支援体制は、学修の継続を助けている	4.0	4.0
6.教育環境	①	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できる	4.0	4.0
	②	実習施設などの十分な教育体制	4.0	4.0
	③	防災に対する体制の整備	4.0	4.0
	④	防災対応マニュアル	4.0	4.0
	⑤	学生への防災対策の周知	4.0	4.0
7.学生の受入れ募集	①	学生募集活動	4.0	4.0
	②	教育成果の正確な伝達	4.0	4.0
	③	学納金	4.0	4.0
8.財務	①	中長期的な財務基盤の安定	4.0	4.0
	②	有効かつ妥当な予算・収支計画	4.0	4.0
	③	財務の会計監査	4.0	4.0
	④	財務情報公開の体制整備	4.0	4.0

大項目		評価項目	2023	2024
9.法令等の遵守	①	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営	4.0	4.0
	②	個人情報の保護のための対策	4.0	4.0
	③	自己評価の実施と問題点の改善	4.0	4.0
	④	自己評価結果の公開	4.0	4.0
10.社会貢献・地域貢献	①	社会貢献・地域貢献の実施	4.0	4.0
	②	学生のボランティア活動	4.0	4.0
	③	地域に対する積極的な受託	4.0	4.0
12. 研究活動への支援	①	教員の研究活動への支援	4.0	4.0
	②	教員の研究活動を助言検討する	4.0	4.0
	③	研究活動を支援し合う文化的素地	4.0	4.0

(4)課題 :今年度の自己点検自己評価の結果より以下の課題が明らかになった。

1)2-8 学校運営 「 情報システム化等による業務の効率化が図られているか 3.85 」

学生の成績開示方法、WEB テストの導入など急激な DX 推進に伴い、教務マニュアルは探究しながらの整備となる関係上、同時進行の整備は困難であった。今後、整備を進めていく。今後も DX 推進を優先し、マニュアルを追従して整備していく形になる可能性は高い。

2)3-2 ⑧実習 「 臨地実習において学生が関係する事故を把握、分析しているか 3.95 」

臨地実習における学生の事故の発生はないが、ヒヤリハット報告はあり、指定されたフォーマットでの報告、提出はされている。しかし、分析や再発防止を反映させるフォーマットになっていないため、システムとして反映させられるよう、次年度より変更する。